

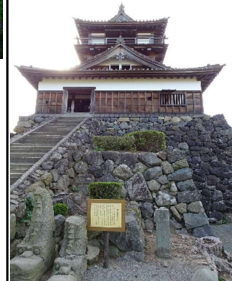
西股先生と行く！初めてのお城歩き 第10弾！！
『現存天守12城 丸岡城・天空の城 越前大野城・一乗谷朝倉氏遺跡』
まるごと福井！2泊3日 2022年11月25日(金)～27日(日)

冬の北陸・福井でお城に思いを！

攻防の砦として中世から近世にかけて多く築かれ、数々の歴史のドラマが繰り広げられた「城」。
越前国(えちぜんのか)に福井には、**北陸唯一の現存天守・丸岡城**、**雲海に浮かぶ天空の城・越前大野城**、**北陸の小京都・一乗谷朝倉氏遺跡**などの名城があり、また、**日本最大級の宗教都市であった白山平泉寺**は苔むし寺としても有名です。いずれも織田信長や一向一揆との関わりが濃く、時代に翻弄された城主たちの思いが聞こえてきそうです。後の時代に登場する「北前船」でもお馴染みの名石「**笏谷石**」は、青みを帯び、水にぬれるとその色が鮮やかに浮かび上がるといふ神秘的な魅力を秘めており、その美しさから丸岡城や福井城で多用、一乗谷では笏谷石の石仏群も見ることができます。奇しくも新酒のシーズン、米どころ北陸・福井では、日本一短い手紙「**一筆啓上**」を銘柄にもつ酒蔵見学も！福井名物「**おろし蕎麦**」、シーズンの「**越前ガニ**」などグルメもしっかり押さえています！！雪に覆われる直前の北陸。今回も西股先生と一緒に時代をさかのぼり、当時に思いを馳せましょう！



	行程	食事・宿泊
1日目 11月25日 (金曜)	<p>13:30 JR福井駅集合、ホテルに荷物を預け、徒歩で見学 ※お客様、各自の交通手段で(現地集合・現地解散型) ・養浩館庭園 ・郷土歴史博物館 ・神明神社 ・福井神社 ・福井城跡 ・柴田神社 / 北ノ庄城跡 / 資料館 17:30頃 ホテルチェックイン ※ 西股先生と懇親会(希望者のみ、別途料金)</p> <p>福井城は、徳川家康の二男・初代福井藩主・結城秀康が慶長11年(1606)に築城し、約270年間17代にわたる越前松平家の繁栄の舞台となった名城です。 北庄城は柴田勝家により天正3年に築城が始まり、織田信長の安土城天守(7層)をしのぐ、9層の天守閣をもつ日本最大級の城だったと記録に残っています。</p>	<p>朝： — 昼： — 夜： 各自</p> <p>泊： 福井</p>
2日目 11月26日 (土曜)	<p>8:30 朝食・チェックアウト後、専用バスにてホテル出発 9:00 丸岡城(入場・見学) 11:00 ランチ@蕎麦工房 お仙(丸岡市) 平日限定の十割そばを特別に提供！ 12:00 久保田酒造(一筆啓上) 見学・試飲・買い物 13:30 九頭竜川のほとり吉田酒造(白龍)に立ち寄り(買い物) 14:20 白山平泉寺(見学) 17:00頃 旅館チェックイン、夕食 ※ ちょうどシーズン真っ盛りの「越前ガニ・セイコガニ」を特別に手配！！ (ご注意1：不漁により入荷できなかった場合はお一人様3000円をご返金いたします) (ご注意2：カニは時価のため、価格高騰で予算を上回った場合は、追加代金を頂戴することもあります。予めご了承ください)</p> <p>北陸唯一の現存天守丸岡城は、戦国時代の天正4年(1576)、一向一揆の備えとして織田信長の命により柴田勝家が甥の勝豊に築かせました。江戸時代に入り、城主は本多家、有馬家と続きます。 日本一短い手紙「一筆啓上 火の用心 お仙泣かすな 馬肥やせ」 この手紙は、徳川家康の忠臣「本多作左衛門重次」が、長篠の合戦(1575年)の折、陣中から妻に宛てて送ったもの。短い文章の中に大事なことが簡潔明瞭に言い尽くされています。 白山平泉寺は、白山信仰の越前(福井)の拠点として開かれ、最盛期の戦国時代には8000人ももの僧兵がいたと伝えられ、当時の日本では最大規模の宗教都市となり繁栄します。しかし、天正2年(1574)に越前一向一揆勢に攻められ、全山焼失しました。</p>	<p>朝： ○ 昼： ○ 夜： ○</p> <p>泊： 越前大野</p>
3日目 11月27日 (日曜)	<p>5:00頃 天空の城を見に犬山へブチ山登り ※自然現象のため雲海が出ない場合も多々あります。ご了承ください 8:00 旅館に戻り、朝食・(シャワー)・チェックアウト後、徒歩にて越前大野を観光 ・朝倉義景墓所 ・御清水 ・大野城 ・旧田村家(武家屋敷) ・石灯笼通り ・寺町通り ・七間通り ・結ステーション(買い物) ランチは大野名物醤油カツ丼を！ 13:00 昼食後、専用バスにて一乗谷朝倉氏遺跡へ移動、遺跡内は徒歩にて見学 ・復原町並 ・唐門 ・義景館跡庭園 ・湯殿跡庭園 ・中の御殿「物見台」 ・諏訪館跡庭園 ・米津 ※復原町並ショップ(買い物) 専用バスにて立ち寄り ・上城戸跡 ・下城戸跡 ・西山光照寺跡 17:30頃 JR福井駅で解散</p> <p>天正3年(1575)、織田信長は、大野郡の一向一揆を収束させた恩賞として、大野郡の3分の2を金森長近に、3分の1を原政茂に与えたといわれています。長近は亀山に平山城の城郭(大野城)と、その東麓に短冊状の城下町をつくり始めました。その後、明治に入り城が払い下げられるまでの間に、19人が城主を務めています。文政12年(1829)19歳で藩主として大野へ入った土井利忠は幕末の名君として藩財政の立て直しと人材登用を進めました。 朝倉氏は兵庫県出身の豪族で、南北朝時代に朝倉広景が主人の斯波高経に従って越前(福井)に入国しました。朝倉孝景の代、1467年の応仁の乱での活躍をきっかけに一乗谷に本拠地を移し、斯波氏、甲斐氏を追放して越前国を平定。以後孝景、氏景、貞景、孝景、義景と5代103年間にわたって越前国の中心として繁栄し、この間、京都や奈良の貴族・僧侶などの文化人が訪れ、北陸の小京都とも呼ばれました。しかし天下統一の戦いの中で1573年織田信長に敗れ、朝倉氏は滅び、城下町も焼き尽くされました。</p>	<p>朝： ○ 昼： ○ 夜： —</p>



◎ お城、戦国史に精通した私がお案内します！

歴史ライター/城郭・戦国史研究家 西股 総生 (にしまた ふうさお) 先生

歴史ライター。学習院大学大学院史学専攻・博士前期過程修了。
大河ドラマ『真田丸』『鎌倉殿の13人』で軍事考証を務める。
『真田丸』では、ドラマに登場した真田丸を設計し、城・合戦シーンの参謀役。
『鎌倉殿』で、どこをどう考証しているかは現時点では(公式には)秘密。
主著に『戦国武将の現場感覚』(KAWADE夢文庫2022)、
『オレたちの鎌倉殿』(主婦と生活社2022)他、著書や雑誌記事多数。
WEBサイトJBpressに「教養として役立つ日本の城」を連載。



お城初心者のバイブル！西股先生の著書(JBpress社)
この本を読んでからご参加いただくとより理解が深まります

◎ 料金 お一人様あたり(税込み)

	1名様1室	(2泊目)2名様1室
基本料金 3日間すべて参加	99,000円	97,900円
1日目参加 宿泊なし	12,000円	
2~3日目参加 1泊あり	85,000円	83,900円
お城ツアー参加割引	『松本城ツアー』『関西お城ツアー』『大山城ツアー』のいずれか 1つご参加の方：1,000円割引！ 2つご参加の方：2,000円割引！ 3つご参加の方：3,000円割引！	
早期お申込み割引	9月30日(金)までにお申込み・カード決済またはお振込みが完了のお客様は、次の割引をいたします。 旅行代金(お城ツアー参加割引後の金額)が8万円以上→5,000円割引	
銀行振込割引	旅行代金を銀行振込でお支払いのお客様は、次の割引をいたします。 旅行代金が8万円以上→2,000円割引	
追加手配	集合以前・解散以降の個人的なご旅行について、何なりとご相談ください！	

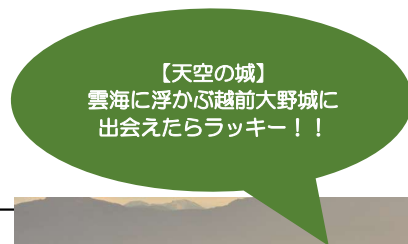
◎ ご注意・ご案内

料金に含まれるもの	料金に含まれないもの
<ul style="list-style-type: none"> 1日目ホテル(朝食・税・サービス込み) 2日目旅館(朝夕食・税・サービス込み) ※夕食のお飲み物代は別途 2~3日目昼食(税込み・お飲み物は別途) 貸切バス(2~3日目) ガイドイングリシーバー 旅程に記載のある施設の入場料、酒蔵見学料 お城ガイド料(西股先生) 移動エスコート(弊社スタッフ) 弊社手配手数料(宿泊費用・その他手配費用に該当する手数料)・クレジットカード決済手数料 	<ul style="list-style-type: none"> 集合・解散場所までの交通費(新幹線・JRなど) 旅程に記載のないお食事・お飲み物代金 フリータイムの交通費・入場料など その他、お土産など個人的な費用 旅程に記載のないサービスに関する費用

※ 弊社スタッフは現地移動と宿泊施設チェックインのお手伝いをいたします。

◎ キャンセル規定

お申込み時~ツアー開始31日前	⇒	5% ※
※キャンセルの場合はメールまたは電話にてお申し出ください。キャンセル料(カード決済手数料5%)を控除した金額をお客様のお支払いクレジットカードへ返金します。		
ツアー開始の30~15日前	⇒	50%
ツアー開始の14~8日前	⇒	80%
ツアー開始の7日前より	⇒	100%



【天空の城】
雲海に浮かぶ越前大野城に
出会えたらラッキー！！

◎ 最少催行人数： 7名様 (1日目：最大20名様、2-3日目：限定7名様)

◎ 通訳は同行しませんが、外国人のご参加歓迎！(通訳が必要な場合はお問合せください！)

◎ 旅行形態：手配旅行(宿泊を含む場合)

◎ お申込・お問合せ：(株)アイ・ティ・エス/アイ・トラベル・スクエア

website: <https://i-travel-square.tokyo/castle-fukui> →
email: info@i-travel-square.tokyo tel: 03-6706-4700

